

愛してやまない

私の地元

こんにちは、システムソリューション事業部の牧野です。私が今生活している、溝の口をご紹介します。

溝の口は、神奈川の中でも交通の便が非常に良い街です。東急田園都市線の溝の口駅、東急東横線溝の口駅、JR 南武線武蔵溝ノ口駅があり、公共交通機関には困りません。渋谷には各駅停車でも 20 分で着きます。

また、車でのアクセスもよく、国道 246 号、東名高速道路、第三京浜道路に囲まれ、どこに行くにも不便無しです。

そんな交通網の発達した溝の口ですが、推したいのは自然がしっかり残っているところです。家の近くには「ニヶ領用水」という古くから川崎の発展を支えた用水路があり、沿川にはさまざまな草木が植えられてい

今日の地元

溝の口(神奈川県)

執筆：システムソリューション事業部
牧野 慎一郎

るので四季を問わず楽しめます。特に春になって桜が花開くと、その眺めは一見の価値あります。

多摩川もすぐそばにあるので、ランニングにサイクリング、夏にはバーベキューなんなのも気軽に楽しめます。

また、溝の口駅には「キラリデッキ」という愛称のペDESTリアンデッキがあり、毎晩のようにストリートライブが開かれているので耳も楽しく、疲れた体を癒してくれる歌声に出会うことも楽しみの一つです。マルイ、ドンキホーテ、イトーヨーカドー、文教堂、各種居酒屋と、ショッピングも充実しています。

住めば都とはいいますが、関東でお引越しをお考えの際は、ぜひ溝の口も候補に入れてみてください。

※ちなみに、溝の口には日本一の売上をあげる「餃子の王将 武蔵溝ノ口駅前店」がありますよ!



The 集客

集客：[名](スル) 客を集めること。また、客が集まること。

執筆：WEB コンサルティング部
村上 宜久

それぞれ、業態は違ってもお客様を連れてくるということは、多くの会社にとって重要なミッションです。しかしながら、この「集客」に苦勞されているのも事実。これから日本は、供給過多になっていと言われていいますが、このような状況で企業が生き残るためには、やはり「集客」が最重要課題になります。

もはや良い商品やサービスだけでは売れません。いろいろなホームページを見ていると、目立つように商品やサービスが掲載されています。恐らく、その商品やサービスは使ってみると「買って良かった」「利用して良かった」と感じてもらえることだろうと思います。

ただし、購入や申し込みをしてくれる方が圧倒的に少数です。つまり、欲しいとも、そのサービスを受けたいとも思っていないわけです。その商品の魅力やメリットが伝わっていないため購入しようという気にならないのです。

ホームページでは、商品をただ掲載するだけでなく、ストーリー性を見直してみてもいいでしょうか。

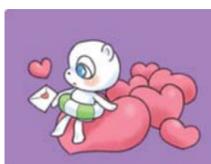
御社が出稿している広告をターゲットは、
・どのような気持ちで見ているのか。
・その気持ちに対して適切なメッセージが広告には書かれているのか。
・ターゲットの気持ちに沿った作りになっているか。

製品やサービスについて、
・内容と写真やイラスト・ロゴなどのイメージがバランスよく入っているか。
・デザイン重視になっておらず、きちんと内容が充実しているか。

特に中堅中小の企業にとっては、広告などから訪れるお客様をダイレクトに申し込みに繋げることが必要です。

大切なのは、お客様に対して的確に自社の価値、特徴、メリットを伝えることです。ここをハッキリとさせることで、他社との差別化になり、デフレで需要が下がっていく中で、お客様に選んで頂けるポイントの一つになります。

編集後記



会社の創立記念にアイロベックスケーキを作りました。ロゴをいれてお砂糖のクリームでバラを飾りました。社員全員には行き渡らなかったのですが、代表の杉山をはじめ食べた皆さんがおいしいと食べてくださったので、作った甲斐がありました！
WEB コンサル部 yamada

アイロベックス通信は
弊社 HP 上からもダウンロード頂けます。
最新号、バックナンバーも掲載中です。

URL→<http://www.ilovex.co.jp/info/newsletter/>

アイロベックスのソーシャルメディア

Twitter→http://twitter.com/ilovex_official

Facebook→<http://www.facebook.com/ilovex.co.jp>

ilovex Magazine

http://www.ilovex.co.jp/ TEL : 03-3232-2525 / FAX : 03-3232-2520

企画・制作発行 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-17-5 ラウンドクロスクロス新宿5丁目3F

ilovex MAGAZINE 通信

アイロベックスが月1でお届けしている広報誌

02
February .2012
Vol.77



アイロベックスは、おかげ様で 23 年目を迎えました

緊急対談! まだまだめんどくさいことしてませんか?

イマドキのリモートメンテナンス前編

愛してやまない私の地元

神奈川県溝の口をご紹介します!

アイロベックスは、おかげ様で 23年目を迎えました

株式会社アイロベックスも今年で22周年、23年目を迎えました。

思い起こせば、オフコンからPC、クラサバからWEB。そして今や、スマートフォンやら端末の選択肢が広がったクラウド時代に入りました。開発という意味合いでは、プログラム言語がこんなに多彩になるとは思ってもみませんでした。しかし、業務をシステム化するといった意味合いでは、今も昔もそう変わってはいません。アイロベックスは、あくまでもお客さま主義、現場主義の視点にたったシステムをお届けしていきます。

ITは、効率的、効果的な仕組みをもたらすだけでなく、新しい観念やビジネスモデルさえも構築する仕事だと思っています。

これからもアイロベックスをよろしく願い申し上げます。

代表取締役社長 杉山 淳子



杉山, 小幡

これからも走り続けよう

執筆：小幡 直輝

22周年、ありがとうございます。一口に22周年と言いますが、社員さんの中には、創業当時まだ生まれて間もない人がいることを考えると長い年月であることを実感します。それでは、アイロベックスの歴史を振り返って見ましょう。

<p>- 1990年01月 アイロベックス創立 青山のマンションの小さい一室でスタートして、毎晩のように深夜まで仕事をしており、決して順調なことばかりではなかったが、楽しかった事が印象に残っています。ずいぶん昔のことなのですが、つい昨日のこのように思い出します。</p>	<p>1990</p>
<p>- 1993年05月 Windows3.1 発売 オフコンという小型汎用機のシステム構築のSEをしていた私が秋葉原からパソコンを購入してきて、教えてくれる、聞ける人が誰もいないなかで、いろんな本を読みながら悪戦苦闘していたことを思い出します。</p>	<p>1993</p>
<p>- 1995年11月 アイロベックスドメイン取得 - 1996年01月 インターネットスクール開設 今日のように席に居ながらにして、インターネットから溢れる情報を得られるという、ITを取り巻く環境の変化を、この当時に誰が予想できたでしょうか？</p>	<p>1995 2000</p>
<p>- 2005年04月 個人情報保護法が施行 - 2007年07月 プライバシーマーク取得 - 2007年08月 Microsoft GoldPartner 取得 個人情報保護法が施行されてから、企業の個人情報管理やコンプライアンスに対する関心が急激に高まりました。</p>	<p>2005 2010 2012</p>
<p>- 2000年01月 アイロベックス 10周年 2000年問題で大騒ぎして、年末年始を出社しましたね。世間は大騒ぎした割には、何事も起こりませんでした…。</p>	<p>2000</p>
<p>- 2010年01月 アイロベックス 20周年 - 2010年07月 Yahoo,Google「システム開発」で検索順位1位 - 2012年01月 アイロベックス 22周年 SEO対策により、お客様から直接のお問い合わせをいただき、私たち自らの力で、提案をして仕事を獲得できるようになりました。</p>	<p>2010 2012</p>

これまで走り続けてきた22年間。常に戦い続けてきたわけでも有りませんが、別に流されてきたわけでもありません。私たちが追いかけていた夢のいくつかは、きっと今この手の中にあると信じています。システムを作り上げたときの達成感と喜び、システムが順調に稼動することにより感じる満足感と誇り、システムを通して生まれるお客様との信頼感と繋がり、これが私たちの仕事の原動力となっていると思います。これからも、社会や仕事はどうなっていくのかを予測し、そのとき自分はどうありたいのかを見据えたいうえで、走り続けよう。その道は、果てしなくどこまでも続いていることを信じて……。



1月23日、社員全員で練馬にあるあわび亭で創立記念パーティーを行いました。社員一同、伊勢海老やあわび、タイの塩釜焼きに舌鼓をうち、本当にお腹いっぱい食べました。最後、杉山さんと小幡さんには社員から花束贈呈がありました。杉山さん、小幡さん、23年目おめでとうございます。

● ● ● イマドキのリモートメンテナンス 座談会【前編】

執筆：中村 千穂、八田 忍、西横 正俊 ● ● ●

中村

お客様のシステムメンテナンスの際、VPNの設定をしないため、実際にお客様の事務所に出向きメンテナンスをおこなうことがあるのですが、なにかいい方法はありますか？

西横

はい、簡単に導入できる方法が2パターンあります。前編では、マイクロソフト社(以下、MS社)のLive Meshというツールをご紹介します。

こんな便利なツールですが、一つだけ問題があります。このツールはWindows Vista以降(Vista,7,2008R2)のパソコンでしか使えないんです。そこだけがネックですね。以前だと、SharedViewっていうツールがMS社から出ていて、Windows XPでも使えていたんですが、2012年1月31日にサービスが終了していました。

このツールをインストールし、MS社のWindows Live ID(以下LiveID)でログインし、リモート管理できるように設定しておきます。この時利用するLiveIDは、お客様のパソコン上に設定していただくのと外部から接続する際、同じログインIDとパスワードを使用します。

同じログイン情報を、お客様とアイロベックスで共有することになるので、Aのお客様とBのお客様で同じIDを使ってしまうと、使い方によっては、Aのお客様がBのお客様のパソコンを操作できてしまうような事態を招いてしまいます。ID管理は厳重に注意しなければいけません。

MS社のlive.comのサイトにお客様と共通のIDでログインすると、お客様のパソコンには、リモート接続を許可するかどうか確認画面が表示され、許可することによってお客様のパソコンを操作できるようになります。

中村

これ、VPN引く必要ないじゃん!便利!しかも無料だなんて!!!

西横

お客様側はインターネットに接続さえしていれば、基本的にはネットワークの設定は特に何もなくてもよいので、夢のようなツールです。緊急時のみ対応する場合には、このツールでも十分ですね。

こちらで操作している画面をお客様に見せることもできずし、お客様が操作している画面をこちらに見せることもできます。

八田

システムでエラーが発生したときに、「エラーの内容を再現して下さい」ってお願いして見せてもらうことができるね。特に、他社が開発したアプリケーションの保守を行う時には、エラーメッセージだけ送られてきても、再現する方法が分からないと原因を突き止めるのが大変だからね。

あとは、お客様が操作方法をわからない時に、こっちで操作しているのをお客様に見てもらったことにも使えるね!リモートデスクトップで接続すると、お客様の作業を見たり、こっちの作業をお客様に見せることはできないから。

西横

リモート接続するには、お客様側で接続するたびに接続許可しなければいけないのでお客様が知らない間に接続されることもありません。

中村

それはお客様にとっても安心だね。VPNルーターでお客様と弊社間を接続すれば便利だけど、お客様の知らない間に接続されるのは、不安に思われる方もいるものね。

次回、後編に続く!



図を書いて説明している西横



お客様と同じIDでログインすると、リモート接続することができる。

※弊社ではお客様と弊社事務所間をインターネットVPNで接続し、運用保守を行っている事例もたくさんあります。今回ご紹介したケースは、維持費用などの理由でインターネットVPNを結ばない場合や、事前に保守契約を結んでいないお客様を突発的にサポートするような場合に便利な機能としてご紹介させていただきました。

クラウドおすすめ隊

クラウドおすすめ隊サービスを発表!!

当社では、この度、今まで納めてきたクラウドサービスの実績より「クラウドおすすめ隊」として商品化し、これに基づき、クラウドおすすめ隊を組織しました。今回は、サーバー引っ越し隊のご紹介です。

■「サーバー引っ越し隊」とは

日本中の会社の事務室から「サーバー」を失くす!を、合言葉にクラウド環境へのサーバー移転を行うサービスです。「自社内にサーバーを抱えている」「お使いのレンタルサーバーに不満を持っている」企業様を対象としています。サーバーをデータセンターへ移転することで保守・メンテナンス費用の削減やセキュリティの向上、災害発生時のリスクマネジメントが可能となります。



Salesforceお助け隊
突撃隊長：マーシャル加藤

GoogleApps推進隊
突撃隊長：クラウドゆかり

サーバー引っ越し隊
突撃隊長：ニッキー正宗

突撃隊長ニッキー正宗
サーバー引っ越し隊

ビジョン： 日本中の会社の事務室から「サーバー」を失くす
趣味： 散歩 一日一万歩 歩くこと
好きな食べ物： 日清焼そば UFO

なぜこのビジョン?

実は、社内のサーバー管理を、ずっとやってきました。一番、最悪なのは、いきなりサーバが倒れたときです。マーフィの法則っていうんですかね。暇なときには倒れない。

一番忙しいときとか、人手がないときに限って倒れる。正月にWebサーバとメールサーバが倒れて復旧するために会社に出なきゃいけないんです。なのに、正月明けたら、皆にどうしてメールが不通だったんだって文句ばかり言われて辛かったですよ。こういう不幸な技術者を一人でも無くそう。全ての会社からサーバを失くそうと決意しました。

詳しくは、同封のチラシをお読みください!